

10701印刷業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	12	16~17	輪転機で使用するロール紙を取り替えるときに、ロール紙の端に両面テープを貼って紙をとめる際、足元のバランスを崩し、左手を刃の上について、左手中指と左手上腕部を負傷し縫合した。なお、輪転機は止めてあり、紙を取り替えたところにテープを貼っていたときであった。	47	8	166	100 ~ 299
2	2017	12	17~18	印刷10号機の1番ユニットにて、圧胴の凹みを確認中、手が引っ張られ、圧胴とパイプの間に右手薬指が巻き込まれた。	34	7	166	50~ 99
3	2017	12	17~18	印刷1号機にて、たるんだフィルムを張るため、巻き取り機のスイッチを入れた際、誤って紙管の方に左手を持っていき、巻き込まれた。	25	7	166	—
4	2017	12	10~11	机の上に乗って窓の掃除中に、足場が狭かったため机の上から足を踏み外し、後ろ向きで床に落ち、踵を骨折した。	47	1	391	50~ 99
5	2017	12	11~12	会社の新社屋に引っ越し作業中に荷物を1階から2階に机を1台、3名にて運ぶ作業中に階段の最上段に差しかけた時に荷物のバランスを崩し、同時に足を滑らせ、床に尻もちをつき骨折する事故となった。	49	2	413	10~ 29
6	2017	11	9~ 10	サポートセンター（作業場）から本社社屋へ小走りで移動中、足を捻って捻挫した。	67	2	417	100 ~ 299
			12~	業務のため上司とともに出張業務中であった。局内に食堂はなく、お昼は現場で調達していた。徒歩で近くのコンビニへ				10~

23	2017	10	4~5	<p>本社1階紙倉庫にて製品を動かす為にブラッターを操作していたところ、壁と停めてあった別のフォークリフトにかなり近寄ってしまったので慌てて右側に戻そうとしたが、操作を誤って左旋回をしてしまった。その際、左足先がブラッターよりはみ出した状態となっていたため、停まっていたフォークとの間に挟まってしまい第一趾、第二趾間を裂傷負傷したもの。 (当日は夜間勤務中。)</p>	18	7	222	100 ~ 299
24	2017	10	9~ 10	<p>印刷オペレーターなので、現場で作業中、フィルム拭き取り作業の際、軸にフィルムが巻きつき、フィルムと一緒に手を持っていかれた。</p>	43	7	166	10~ 29
25	2017	10	21~ 22	<p>ドライラミネーター機の巻き出し箇所付近で、手製品を手動ラクサーから台車へ移し替える作業をしている時に、手製品が台車に収まった状態を確認せず、台車を動かしてしまったため、手製品が左足足元に落下し、左足首を骨折した。</p>	28	4	521	100 ~ 299
26	2017	9	23~ 24	<p>休憩中で人が少なかった為、慌てて段取り作業を行った、その際のドクター刃を下ろしに行く時に、急いでいた為につまずいてしまい、誤ってドクター刃の上に手をついてしまった。</p>	27	2	416	30~ 49
27	2017	9	16~ 17	<p>自社工場にて、作業中に箱（高さ40cm、縦30cm、横50cm）を持って移動している時に、台に足を引っ掛け箱を持ったまま捻るような感じで転倒し左膝を負傷する。</p>	35	2	611	1~9
28	2017	9	8~9	<p>会社敷地内の駐車場において、自転車を駐車する際に、バランスを崩し倒れた。</p>	53	2	362	30~ 49
29	2017	9	13~ 14	<p>ラミネート用接着剤があふれ出た為、ふき取り作業を実施、マスク等保護具の着用なし、20~30分作業を実施したが、気分が悪くなり社員に申し出、作業場所から離れ、休憩するも回復せず、外の空気を吸いに出たものの、身体の震えや吐き気が出た為、病院を受診。有機溶剤による化学薬品中毒と診断された。</p>	40	12	514	50~ 99

30	2017	9	14～ 15	当社1F工場内での作業後、後片付けの最中、汚れを拭くためにウエスの入ったダンボール箱からウエスを取り出そうとしたところ、中でウエスが絡まっていたダンボール箱ごと落下、右肩を直撃した。	50	6	611	10～ 29
31	2017	9	8～9	被災者は、期末棚卸しのために共同作業者が操作するピッキンググリフトで約1mの高さに持ち上げたパレットに乗って、製品ラック2段目（高さ約1.5m）にある製品の数量を確認していた。（パレットの寸法は110cm×110cmであった。）共同作業者は、被災者をパレットに乗せて持ち上げたままピッキンググリフトを低速で移動し、対象製品の前で停止した。被災者は製品ラックの奥にある対象製品の数量を確認しようと、パレット上を製品ラックに向かって右側へ移動したところ、目測を誤りパレットから足を踏み外して床面に転落した。（被災者はヘルメットと安全靴は着用していたが、安全帯は使用していなかった。）転落した時、製品ラック1段目フレームの角（高さ約15cm）に右脇腹を打ち付けた。すぐに共同作業者が上司に報告し、被災者を救急車で病院に搬送した。	39	1	222	100 ～ 299
32	2017	9	7～8	工場1階作業場で印刷機の汚れをふき取るウエス（スポンジ）を洗った後、印刷機の横の階段（五段）に昇った際、階段のふちにバランスを崩し左すねをぶつけ負傷、そのまま家に帰り夜になって腫れあがった為、自宅で湿布手当をし、後日受診した。	24	3	413	30～ 49
33	2017	9	6～7	印刷工場内、印刷加工準備で印刷機械にロール状のフィルムをセットする作業中、通常はフィルムとコンベアに載せて印刷機械にセットするという作業手順だが、フィルムの巻き径が細かった為、コンベアに載せずに手で持ち上げ機械にセットしようとしたところ、手が滑りフィルムが落下。丁度その下に左足があり、安全靴を着用していたが、左足小指を骨折した。	27	4	529	50～ 99

34	2017	8	13~ 14	工場内において、版曲げ機を使い、印刷用のPS版（1030mm×800mm）の版曲げを行う際、PS版が波打っていたので、板を抑え込みながらスタートしたところ、版曲げ機に軍手が挟まり、左手を負傷した。	48	7	166	1~9
35	2017	8	15~ 16	工場へシールを納品後、敷地内の駐車場へ行く途中にトラックが止まっていたので、急いで横断したとき、「パキッ」と音が生じて右太ももを損傷した。	35	19	417	30~ 49
36	2017	8	16~ 17	当社工場内で印刷業務を終了し、印刷機を洗浄中に印刷機内にあるローラーに糸くずのようなものを発見し、本来であれば印刷機を停止して行わなければならない作業を機械が動いている状態で糸くずのようなものを手で取ろうとした際に誤まって左手首までローラーに巻かれてしまった。	52	7	166	10~ 29
37	2017	8	10~ 11	工場内のスリット2号機付近でスリットの準備作業の一つである立っている状態の印刷原版を倒す作業中に腰をひねって腰椎捻挫（ぎっくり腰）となった。	40	19	612	30~ 49
38	2017	8	9~ 10	自社事務所前で4 tトラックで完成した看板をつりあげ、載せてゆっくり左側に寝かそうとしていたところ、ベースパネルがズルズルズレてベースパネルを押さえて止めようとしたが、パネルが重くまず右足にベースパネルが当たり負傷、さらに左足の指がパネルと地面に挟まり負傷。	46	7	212	1~9
39	2017	7	13~14	会社のイベントに参加中、3階会議室から1階へ移動中に階段を踏み外し、転落して受傷した。	38	2	413	30~ 49
40	2017	7	10~11	センターシール機作業中、スリット原反に異常があり、手動で貼り合わせ作業を行った。その後、ハサミで紙管に残っているフィルムを切断した際添えていた左手指を一緒に切ってしまった。	26	8	364	300 ~ 499
				ハンドリフトで印刷物（冊子）を運んでいる時に方向転換を行った。ハンドリフトは重量が500kgあり重く、方向転換す				100

41	2017	7	14~15	る際強く引いたため足がもつれ足をひねり左足にひびが入った。	27	19	921	~ 299
42	2017	7	11~12	印刷工場内で、カードオフセット印刷機の印刷操作中、排紙部のローラーに用紙がからみつき、手で用紙を取り除こうとした時、機械を止めずに行ってしまったため、回転するローラーに指をはさみ、右手の中指先端がつぶれて取れてしまった。	50	7	166	10~ 29
43	2017	7	17~18	特殊糊加工機の操業中に糊皿へ糊を供給したが、誤って糊をドクターロールへ飛散させた。本来、運転中に回転体へ手やウエス等を持っていかないルールであったが、ドクターロールは回転しないため、大丈夫と思いうエスで拭き取ろうとして、ウエスと左示指の先端をドクターロール上部の版間に巻き込まれて被災した。	40	7	166	50~ 99
44	2017	7	20~21	パレットの上に立っている原反（印刷4000m巻）をリフトに倒して載せる際、原反とリフトのアーム部分に左手中指を挟んでしまった。原反がパレットの上で滑ってしまいバランスを崩してしまった。	29	7	529	100 ~ 299
45	2017	7	20~21	印刷部にて版替作業中、版を右手で押さえ、左手で機械を寸動で動かしていた時、安全バーを外して作業をしていて、右手、指第3、4、5指が版胴と、ブラン胴間に挟まれる。	47	7	166	30~ 49
46	2017	7	11~12	印刷機が850rpmで運転中に印刷不良が発生。第一ユニットの安全バーからの結露が原因とわかり、コバン（隙見ゲージ）にウエスを巻いて拭き取ろうとしたところ、ブランケットにウエスが引っ張られてしまい安全バーとブランケットの間に指が挟まれて受傷した。停止させてから実施させるルールにはなっていたとのこと。	43	7	166	100 ~ 299
				加工機給紙部においてシートの原反を取り付ける作業中、チャッキングコーンが紙管の中に入らず口金に引っ掛かってし				

47	2017	6	21～ 22	まった。その際、口金の中に伝票が挟まっていることに気づき、手で取り出そうとしたところ、口金に引っ掛かっていたチャッキングコーンがエア圧で紙管内に入り、その瞬間に人差指がチャッキングコーンと口金に挟まり、人差指足端を欠損した。	20	7	169	300 ～ 499
48	2017	6	14～ 15	積み込み作業中にフォークリフト運転中、ブレーキ操作を誤り急停車したために、惰性により運転していたフォークリフトから投げ出され、ホーム下の路上に腰辺りから着地し、続いて後頭部を強打した。	55	1	222	1～9
49	2017	6	10～ 11	印刷作業時、3階作業フロアで指導を受けた事に対して興奮し、何度か転倒した際に負傷した。	30	19	921	1～9
50	2017	6	9～ 10	印刷機にて作業中、ローラーに紙が巻き付き、それを取ろうと機械を止めず（本来止めることになっている）作業したところ、誤って左手が入ってしまい、その際に左手中指・薬指・小指を骨折した。その内、中指は開放骨折の怪我を負った。	32	7	166	30～ 49
51	2017	6	10～ 11	当社にて、表面加工プレス機のニスローラー部で、ローラードクター刃（縦突出部分5mm、横1100mm）の刃の裏側を清掃しようとした際、折り曲げた布を手袋をした右手に持って、右の方へスライドして刃を拭こうとした時、刃から目を離してしまい、誤って右手小指を切傷し負傷したものである。	46	8	166	30～ 49
52	2017	6	15～ 16	工場内にて、両手で印刷物を繰り返し持ち運びする作業中に、左上肢に痛みを感じた。	41	19	611	1～9
53	2017	6	11～ 12	受傷者は、パレット上の結束された印刷物を製本機にセットするために、エアで開閉する手動クランプハンドで印刷物を掴もうと、クランプ開始を押した後に、クランプと印刷物の中心位置がずれているのに気づき、クランプ位置を手で動かそうとした際に、クランプ板と印刷物端の当板との間に右手小指先端を挟まれた。	48	7	166	1000 ～ 9999

54	2017	6	18～ 19	当社工場内6号印刷機の第5ユニット内で、圧胴ロールとバックアップロールの間に、誤って左手小指・薬指を巻き込まれ負傷した。原因は、圧胴ロールに付着したゴミ（印刷不良原因物）を除却しようとしたためである。	38	7	166	50～ 99
55	2017	6	6～7	受傷者は、印刷機においてシリンダー洗版作業中にインキパンカバーの交換を行っている際に、回転しているシリンダーにインキパンカバーが巻き付き、カバーと一緒に右腕がシリンダーの端の部分に巻き込まれ受傷した。	22	7	166	500 ～ 999
56	2017	5	16～ 17	製本作業で足踏み式の穿孔機を使用中、ドリルに溜まった紙カスを、本来ならばハケで払うべきところ、本人の慣れもあり素手で払おうとした。その際、誤ってペダルを踏んでしまったためドリルが下りて、右手薬指の爪の中心部を上下に貫通して骨折した。	33	7	166	10～ 29
57	2017	5	14～ 15	作業中に階段を降りていた時に足を捻り、左足を受傷した。捻挫と思いそのまま仕事を続けたが、終業後も痛みと腫れが引かなかった。	58	19	413	100 ～ 299
58	2017	5	11～ 12	事故発生時、紙耳の落ちが悪い事からトリマー内部に紙耳が詰まったり、製品に紙耳が付いた状態でトリマーから出ていく事で、機械がよく停止する状況であった。昼までの生産数が気になっており、稼働中に右手を持っていき事故が発生した。	45	7	169	300 ～ 499
59	2017	5	16～ 17	2階の休憩室から1階の作業場へ降りる階段の踊場にて、階段を降りている時に階段と踊場との間に段差があり、手すりを持たずに降りていたところ、踊場に着地した際に左足首を捻った。	47	2	413	30～ 49
60	2017	5	15～	原紙の運搬作業でハンドリフトを操作した時、ハンドリフトの横側（左）に立ち操作レバーを押した際、自分の左側には次作業で使用するジャンボロールがパレット上に準備されていて、自分の進行方向は左に位置する為、左足を左に踏み込んだ時に	19	19	379	30～

			16	つま先がパレットに接触した。ハンドリフトは、真っ直ぐ進行させなければジャンボロールに接触する為、体と手が離れた状態になり、左足を踏み外して左足首を捻挫した。				49
61	2017	5	11~ 12	2階にある事務所から階段を下りている時、最後の1~2段を踏み外してしまい、そのまま転倒して足をひねり、体が足にのしかかり骨折した。	50	2	413	—
62	2017	4	9~ 10	朝礼中に気分が悪くなり、御手洗に向かっている時に意識が遠くなり、そのまま失神し転倒し、顔面を強打した。	27	2	417	100 ~ 299
63	2017	4	13~ 14	工場内の輪転印刷機のパーホレーター（印刷物にミシン目を入れる機械）に用紙を挿入する作業をしているとき、ゴム手袋をしていた左手を無意識に必要以上パーホレーターの回転しているローラーに近付けた為、手袋がローラーに巻き込まれ同時に指も巻き込まれて、ローラーに装着しているミシン目の刃で指を切断された。	38	8	166	50~ 99
64	2017	4	6~7	印刷工場内の用紙準備スペースで、準備済みの用紙を倉庫内に搬入する作業時に、用紙の搬送方向を180度回転させるターンテーブルに右足が挟まった。（本人の危険意識の欠落と不注意による）	19	7	169	100 ~ 299
65	2017	4	10~ 11	当社建物内3F丁合作業場所、北側窓際、カード収納用カートン（10cm×31.5cm×43.5cm）の空箱の移動作業中、空箱が12段程重ねてあり床に直置きされている状態床に直置きのため持ちあげる時に腰に負担がかかるので数回に分けて運ぶように指示していたが、一度で運ぼうとし、かがんだ姿勢からの立ち上がりで腰を痛めた。	35	19	611	100 ~ 299
				小型印刷機にて刷版セット時（1人作業）右手で、寸動スイッチを操作し、左手で刷版取付のため手袋（軍手）をはめて手を				100

66	2017	3	10~11	添えていた。その際、左手小指の軍手の先が少し余っていた所が、版胴とブラン胴の間に挟まり、自分で右手で寸動を停止させた。	24	7	166	~ 299
67	2017	3	8~9	役員室の清掃の為、階段を7階から8階に上がる際、右足がもつれて躓き、バランスを崩した。手に持っていたお皿に注意してしまったことにより余計にバランスを崩して階段を踏み外し、左足で踏ん張った際に強く捻ってしまい、右のすねを階段に打ちつけた。	32	19	413	~ 499
68	2017	3	6~7	製造工場内にて、商品を折る機械の調整をしていたとき、本業であれば機械を止めて手動でローラーを動かしながら圧を調整しなければならないが、作業中にローラーを自動で動かしたまま調整しようとしたため、右手小指がローラーに巻きこまれてしまった。	42	7	169	50~ 99
69	2017	3	8~9	受傷者は作業に必要な帳票を準備したあと、運搬車輛へ歩行移動中、床にこぼれていた油により足を滑らせ、右踵部を床面に強打した。	63	2	416	1000 ~ 9999
70	2017	3	20~21	工場内にある紙製品の在庫倉庫内で在庫確認作業中に足を滑らせて転落した。そこは中2階での作業で高さは2mほどあり、落下時に左手首を骨折し、頭部と顔部を強打し歯が折れ、唇を切った。	32	1	414	30~ 49
71	2017	3	10~11	発送口テント下で荷物を搬出中、パレットからハンドリフトを抜くために後ずさりしたところ、同じく搬出中で右からバックしてきたフォークリフトの左側後輪に右足をひかれた。	60	6	222	100 ~ 299
72	2017	2	11~12	工場内搬入口で産廃物回収トラックに廃棄物積込後、廃棄物上面を均そうと、トラック荷台左側あおりの上に左足、右足はトラック内（廃棄物の中）に足を突っ込んで作業中、右足が沈んで来たので、体勢を立て直そうと、左足に重心を移した時、左足が滑り、コンクリート床上に転落した。	62	1	221	50~ 99

73	2017	2	9~10	朝出勤して、建物北側入口からCTP室に入った時に、雨天候で床が滑りやすくなっていたこともあり、右足を前に出した時に滑り、尻もちをついてしまい、負傷したものである。	67	2	417	30~ 49
74	2017	2	5~6	工場内にて、プラスチック成型作業中に、成型機に材料を入れるため機械の階段（1.2m高）を上り、材料注入後、空の袋を持って降りようとした時に階段を踏み外し、手から落下・転倒し、左手首を強打・骨折したものである。	44	1	371	30~ 49
75	2017	2	18~19	工場2階の下30セットPs33輪転機駆動部において、朝刊印刷で使用する輪転機の連結操作を行った際（輪転機の版胴にターニングバーを差し下から上に回転させる操作を行った際）、輪転機が複数台連結された非常に負荷の高い状態であったため、力を入れた時に腰部を痛めてしまった。	34	19	166	50~ 99
76	2017	2	10~11	ナフキン製作中にインクローラーの両サイドの金棒を調整しようとしてギアに左手小指と薬指を挟まれた。	48	7	166	10~ 29
77	2017	1	20~ 21	朝刊印刷の前準備として紙通しを行っている際、ローラーに付着している紙粉を見つけて取り除こうとし、回転中であったローラー部に手を伸ばしたところ、そのまま右手親指以外の四指をローラーに巻き込まれてしまった。	34	7	166	30~ 49
78	2017	1	0~1	直属の上司の下で勤務するようになって以来、日常的に上司から暴言を浴びせかけられていた。仕事上のこととはいえ、少しでも意にそわない部分があると、高圧的に「違う」、「死ね」、「辞めろ」等と怒鳴られていた。また後頭部を叩く行為にも及び、強く蹴られ、かなり恐怖を感じた。当日は、精神的に限界を感じて早退した。	26	90	921	100 ~ 299
79	2017	1	13~ 14	第一工場2F製本課において、紙積み作業後、フィーダー準備中に、フィーダーの持ち上げの固定フックを外す時に右の手でフィーダーを支え、左手でフックを外そうとして、左手人差し指先を引っ掛けた。	36	8	169	100 ~ 299

80	2017	1	11~ 12	事業所の所在地で、車庫の雨よけの不具合の状況を確認する為、塀に乗りその後、飛び降りた際に衝撃で左足の踵の骨が折れた。	53	3	418	1~9
81	2017	1	13~ 14	印刷工場内の紙積み作業台において紙積作業終了後、積み終えた紙を運搬のため、作業台を持ち上げたところ左側腰部に激痛がはしった。	38	19	391	10~ 29
82	2016	12	11~ 12	工場内移動倉庫で、シリンダーに付着していたのりの塊をドクター刃で取り除く作業中に、誤って左手親指を負傷した。	30	8	364	30~ 49
83	2016	12	15~ 16	紙印刷物の仕上げ断裁機で作業中、小口端切り時に紙押さえバーで印刷物を加圧、断裁する手順だが、小口端切りでは押さえバーが角材に当たるので紙束を右手親指で支え、押さえバーを下ろすペダルを踏んでしまい、チラシと押さえバーの間に指を挟んでしまった。	37	7	169	100 ~ 299
84	2016	12	13~ 14	断裁機で印刷物の断裁を行っていた際、誤って自分の手を置いたまま紙押さえを作動させるペダルを踏み負傷。	50	7	156	30~ 49
85	2016	12	14~ 15	駐車場にて洗車をしていたところ、使用していた脚立の脚が折れ曲がり、前方に転倒。その際に肘をつき負傷した。	59	1	371	30~ 49
86	2016	12	9~ 10	清掃終了後、清掃用具を片づけている際、フックに届きにくい ため背のびをしていた。左手に清掃用具、右手に用具入れを 持っていたがバランスを崩し、用具入れごと転倒し左胸部を打 撲した。	64	2	379	100 ~ 299
87	2016	12	16~ 17	工場、帳票課の断裁機にて紙断裁を行う為、コツで紙揃えを 行った後、コツと手を引かずにクランプを降ろし、コツとクラ ンプとの間に右手母指を挟んでしまった。	54	7	156	100 ~ 299
88	2016	12	9~ 10	断裁機を使用中、右手を入れた状態のまま、断裁機のアテを下 ろして、右手の人差し指と中指の第1関節と第2関節の間を負 傷。	24	7	391	10~ 29

96	2016	11	9～ 10	工場内で印刷開始前に版とファニッシャーロールを拭いている時、版とファニッシャーロールとの間に左手が入り込み、少し引き込まれたところで、他作業員に機械を停止してもらい、左手甲の辺りを圧挫創した。	36	7	166	10～ 29
97	2016	11	9～ 10	駐車場の原紙置場にて原紙を運ぶ作業中、パレット上段の原紙を下ろそうとした際、誤って右足の上に落としてしまい、右足中指にヒビが入った。	41	9	611	100 ～ 299
98	2016	11	8～9	工場片付け中、ダンボールにつまずいて転倒。両ひざと右手を打撲。	48	2	417	1～9
99	2016	11	20～ 21	輪転印刷機で、印刷前紙粉除去、ローラー洗浄をしている時に、金ローラーと水棒の間にできた隙間に左手を巻き込まれた。	48	7	163	50～ 99
100	2016	11	15～ 16	1階の現場でハンドリフトに荷物を載せて運んでいる時に右足をハンドリフトのタイヤに挟んで負傷。	28	7	362	10～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。